

## ロシアはウクライナ侵略戦争をやめろ

『ロシアは侵略戦争をやめろ』『いのちを奪うな』『ウクライナからいまずぐ撤退しろ』『国連憲章まもれ』『戦争反対』。ウクライナのこどもたちの泣き叫ぶ声、攻撃によっていのちを奪われた家族の悲痛な叫び、住む場所を失った人々の嘆きの声。プーチン大統領、市民の悲しみの声、怒りの声が聞こえるか、これ以上、何の罪もないいのちを奪うな。あなたが命令した攻撃は、市民のいのち、日々の暮らし、生まれ育った故郷の思い出まで奪った。国連憲章を無視する侵略戦争という行為は、絶対に許されない」

プーチン大統領が演説で、ロシアは世界でも最大の核保有国であることを強調して、核攻撃をも示唆する発言をしたことは、核兵器による脅しそのものです。さらに、3月4日、ザポロジエにあるウクライナ最大の原発へ砲撃をおこなって、一部が破壊されました。原子炉が破壊されれば、福島第一原発やチェルノブイリ原発の事故のように、放射能による大惨事につながる危険があり、原発への攻撃をただちに中止するよう強く求めます。

こうした中、安倍晋三元首相はアメリカと核兵器を共同運用する「核共有」の議論をすすめるべきと主張し、日本維新の会は「核共有」の議論について提言しました。被爆者の核兵器廃絶への願いを踏みにじり、日本を核戦争に導く危険なもので、断固として認められません。世界から核兵器の脅威を取り除くには、核兵器禁止条約を批准する道しかありません。日本政府は「核兵器のない世界」の実現のために、世界の先頭に立って被爆国としての役割を發揮するべきです。

「国際平和の維持は、対話と外交、非暴力によってしか実現できない。戦争や暴力が生み出すのは、憎しみと悲しみだけ。『日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する』『陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない』。憲法九条は、世界を平和に導く道しるべ」

この間、ロシアによる侵略戦争、北朝鮮問題などを理由に、改憲の動きがますます強まっています。憲法署名をはじめ、戦争放棄を謳う平和憲法を守り、活かすためのとりくみを職場、地域の隅々まで広げましょう。いまこそ、憲法九条を持つ私たちが、「戦争反対」の声を上げ、立ち上がる時です。「ロシアはいまずぐ、ウクライナへの侵略やめろ」の声を世界に広げるために、ロシア大使館への手紙、スタンディング、募金活動、街頭宣伝、デモ、集会、学習会などに積極的に参加しましょう。そして、SNSも活用しながら私たち一人ひとりの想いを発信して、平和を願う世界の市民と連帯して、戦争も貧困もない世界をめざしましょう。